

****年**月

実験説明資料

音声**実験

Web 聴取実験の実験参加者の方へ

(1) 実験の意義目的

大学 工学部 **研究室では、*の聴知覚特性解明と、その知見を元にした聴覚／音声／音メディアに対する支援技術開発の研究を行っております。今回の実験は、音声・音楽・音響信号の聞こえの評価を行うものです。この研究の成果は、聞きやすい音声・音楽・音響信号を入出力する音響システム、人間どうしのコミュニケーションを助ける補聴器等の音声聴覚支援システム等の研究開発に活用されます。また、これらのシステムの商用化に活用される可能性があります。

(2) 実験参加者選定と実験で行っていただくこと

(2-1) 本実験を委託する運営会社(**株式会社)にご登録されている方の場合、データ収集対象者は無作為に参加していただく形式になっております。

(2-2) 大学において実験責任者から実験参加依頼されている方の場合、今回の研究目的に合致していると思われる方々を、データ収集対象者として選定させていただきました。

(2-3) 実験参加者に本実験を行っていただくことは以下です。

(a) 本実験に参加されることを希望される方は、ご自身でご用意した PC 等にて Web page を開いて本実験を行ってください。

(b) 本実験に参加するためには、実験参加者が内容を理解した上での参加および実験データを大学側に提供することに同意していただくことが必要です。なお、Web page 上の同意ボタンを押すことにより、同意は成立したものとみなします。

(c) 実験の流れは本実験説明書と Web page で説明します。Web page の指示と画面遷移にしたがって、設問に対する回答入力を行います。実験参加者の同意を得られ、かつ必要に応じて設定する質問事項に対する回答に問題ない場合のみ、実験刺激音の聴取実験を開始します。具体的には、各 Web page から流れる音声や音楽等を聞き取り、その内容を書き取ることや、その印象判断をボタン押し等で回答することとなります。

(d) Web page の性質上、実験実施者は介在せず、自ら進めていただくことになります。単調な作業に感じられる可能性があります。眠気をもよおさないよう、できるだけ集中して課題を遂行していただくようお願いいたします。

(3) 実験に要する時間

聴取実験は、各セッション*~*分程度で、全部で**セッションを行っていただくため、実験だけの単純計算では約*分程度で終了します。ただし、セッション間で休養を適宜取っていただき、リフレッシュしてから次のセッションに進んでいただきたいので、それよりも実質時間は長くなると考えます。

(4) 実験参加者の権利

(4-1) 本実験の実験参加者となることは自由意志によるものであり、実験に関して、説明に納得がいかない場合や、身体的あるいは精神的に不調をきたした場合は、被験者の方は、いつでも実験を取りやめることができます。

(4-2) 本実験に関して、不安を感じる点、手順を理解できない点があれば、実験実施者に質問しても構いません。ただし、質問が実験結果に影響を及ぼすと判断される場合には、質問にはお答えできないこともあります。

(5) 実験参加者に関するプライバシー情報の扱いについて

この実験で得られたデータは、学会や学術雑誌、展示会等で公表される場合があります。ただし、いかなる場合においても、実験参加者のプライバシーに関する情報は外部に出しません。実験において記録したデータを公開する場合は、基本的には統計処理済みの情報とします。研究の性質上、特定の実験参加者を表記する必要がある場合には、イニシャルあるいはアルファベットなどによりデータ対応関係を示し、個人が特定できないようにします。

(6) 取得した個人情報の保管と廃棄、消去

(6-1) 本実験を委託する運営組織がある場合、プライバシー情報（住所・名前・電話番号等個人が特定できる情報）の収集・保管・廃棄等は、その組織の規則に従うものとします。その場合、本実験実施者側でプライバシー情報は収集しません。また、以下で示す「実験データ」との紐付けも行いません。

(6-2) それ以外の場合で、謝金支払い等に必要なプライバシー情報を収集したときは、事務手続きにのみ用いることとして、必要な期間が過ぎた時点で消去します。この取り扱いに関しては**大学のプライバシーポリシーに準拠することとします。

(https://www.*.ac.jp/*/*.html)

(6-3) 年齢、性別、質問事項への回答といった本実験で収集された個人ごとのデータ（「実験データ」と呼ぶ）は、論文等のまとめや引き続き行われる研究に要する期間、善良で細

心の注意を持って保管、利用いたします。実験の再検証確保の要請から、最大10年保持します。ただし、責任ある後継管理者に継承の手続きをした場合、期間は延長されます。
(6-4) 期限に達した個人情報は、実験責任者が責任を持って廃棄または消去します。

(7) 実験が実験参加者に及ぼす影響

聴覚系に損傷を与える大音量にならないよう、実験参加者自身が十分な注意を払ってください。実験に先立ち確認するテスト音において、聴取レベルが決まります。その上で、実験を通して必要以上にうるさくならないように、音データのレベルを十分注意深く設定します。しかし、PC側やWebシステムの原因で思わぬことから危険性が皆無であるとは言い切れませんので、不安を感じられる場合は、実験に参加することを取り止めていただいても結構です。

(8) 謝礼に関して

(8-1) 本実験を委託する運営組織がある場合、謝礼に関してはその組織の規則に従うものとします。

(8-2) 実験を中止する場合、実験が原因で身体的あるいは精神的に不調をきたしたことが明らかである場合を除いては、実験参加者に提示した謝礼は保証されません。また、実験参加者が故意に課題を遂行していないと考えられる場合は、実験責任者の判断により、実験を中止させていただく場合があります。この場合、本実験の謝礼は保証されません。なお、謝礼について合意が得られない場合は、事例毎に実験責任者、実験参加者の方との間で協議の上解決にあたります。

(9) 実験中止に関して

装置の故障など、不測の事態により実験ができなくなった場合、実験を中止することがあります。

(10) 共同研究先とのデータ共同利用

(10-1) 得られた実験データに関しては、下記の共同研究先との2者間で共同利用します。

ただし、このうち個人が特定できるプライバシー情報(住所・名前・電話番号等個人が特定できる情報)は共同研究先には開示しません。共同利用するのは、主観評価実験の有効性および客観的・了解度予測手法の検討のためです。その際、実験データは、下記の実験責任者が責任をもって管理します。なお、共同研究先における実験データの管理/利用に関しては、必要に応じて共同研究先の倫理審査手続等を経た適切な方式で行います。また、

共同研究先においても、本実験の成果等を学会や論文、学術雑誌、展示会等で公表される場合があります。

(10-2) 共同研究先：(株) **

(11) 本実験に関するお問い合わせ先

実験責任者/実施者 ** ** (*大学 工学部 教授・工学博士)

e-mail ***@***.ac.jp

住所 〒***-***

*大学 工学部 *研究室

電話番号 ***-***-**** (** **)

